

## 放課後の有効活用を！ ～ピンチをチャンスに！～

8月26日から2学期がスタートしましたが、大田市方面からJRを利用して登校している皆さんには、不便をかけることとなります。8月の豪雨の影響による出雲市多伎町での地滑りに伴いJR山陰線の江南駅と田儀駅の区間が運休となり、その区間は代替バスで対応するということでしたが、列車との接続が悪く、始業に間に合うためには出雲市駅を従来より1時間早い5時台に出発する列車に乗る必要があります。本校にはその影響を受ける生徒が7名います。その救済措置として、県教育委員会とJRが協議し以下の対応をとっていただけるようになりましたのでお知らせいたします。なお、田儀駅以西の駅から乗車する生徒および登り列車（江津方面）を利用する生徒は登校時に関しては従来通りです。

1. 不通区間を利用している生徒の円滑な通学のため、JRと連携し、当面1か月間（8/27（金）～）、県費により、邇摩高生（7名対象）専用の臨時ジャンボタクシーを運行する。  
※ 江南駅 7：10発 — 仁万駅 8：00着（直通）  
※ 乗車には、通常通学に使用する「JR定期券」の提示が必要。
2. それ以降の対応は、JRや代替バスの運行状況等も踏まえながら、検討を行う。

しかし、今回の臨時のダイヤ改正に伴い、下校時において大田市方面の列車は、16：20仁万駅発の運行が取りやめになったため、最も早い便が17：22仁万駅発となります。なお、江津方面は従来通りです。となると、大田市方面からJRを利用している生徒のうち、部活動等の活動がない生徒は、終礼後約1時間30分待機することになります。通常のダイヤに戻る時期は未定でしばらくはこの臨時ダイヤでの運行になるそうです。

そこで該当する生徒の皆さんに考えていただきたいことがあります。それは、この貴重な1時間30分の活用方法です。今回の臨時ダイヤ改正で、帰宅する時間が遅くなるというデメリットはありますが、ポジティブに考えれば、活用できる時間ができたということです。

いくつか私から提案したいと思います。

- 3年生は、進路の受験対策に活用してはどうでしょうか。  
3年生の皆さんはいよいよ就職試験、進学試験が始まります。自分の希望する進路先に内定あるいは合格できるように面接の練習をしたり、過去問題を解いたり受験対策をしてください。
- 1、2年生で部活動に入部していない人はこの機会に入部を検討してみませんか。  
本校では約7割の生徒が部活動を行っています。自分の好きなことに打ち込むことができるのも学生の特権です。
- 図書館で読書をするというのはどうでしょうか。  
皆さんは、1年間に何冊読書しますか。ちなみに、昨年度1年間の1人あたりの貸し出し平均は3.6冊、購入した本の数は632冊、今年は約150冊購入しました。読みたい本を見つけてください。なければリクエストしてください。良い本に出会えることは素敵なことだと思います。
- 資格取得に向けチャレンジしてみませんか。  
資格は将来の財産にもなりますが、高校で頑張ったことの証にもなります。まずは、漢検、英検、ワープロ検定、家庭科技術検定など身近な検定にチャレンジしてみてもどうでしょうか。
- 宿題、課題、復習等の家庭学習を放課後に済ませてしまう。  
1、2年生対象に1日の家庭学習時間調査を行ったところ、1年生が37分、2年生が22分で1年生の3割、2年生の半数以上が行わないと答えています。最近では就職試験に面接だけで無く、一般常識問題や作文を課す企業も増えています。基礎学力を定着させるためにも普段の学習が大切になります。
- 定期試験（当面は2学期中間試験）が近づいたら試験勉強を行う。  
学校で試験勉強を行えば分からないところがあったら、友達に聞けたり、直接先生に質問したりできて勉強がはかどると思います。

今回の臨時ダイヤの改正は、放課後をうまく活用すればより充実した高校生活を送ることのできるチャンスだと考えてもらえたらとてもうれしいです。